

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	(株)ライフケア創合研究所	代表者	湯川直紀	法人・事業所の特徴	「Re 日常」もう一度、元のように自分の力で生きている地域の一員として暮らしているという実感が得られるよう利用される方の自宅での普段の状態観察を大切に、在宅生活が安定して行えるようつながりを大切に考えています。代表者が理学療法士で事業所内にリハビリコーナーをつくり、リハビリや介護予防にも取り組んでいます。また、普段の行動や生活の中にも広い意味でのリハビリテーションの観点から楽しんでいきいきと地域で暮らすための個別の取り組みにも力を入れています。積極的な施設開放、イベント開催を行い地域交流の場、環境づくりを考えていきたいと思っています。
事業所名	いこいの家26	管理者	行徳牧恵		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	隣事業所	事業所職員	その他	合計
	2人	1人	3人	1人	1人	1人	0人	2人	0人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	柔軟なサービスの組み合わせによる在宅生活の支援ができる体制を維持する。 計画的に研修を実施する。 改善計画内容を意識して取り組めるよう、ミーティングを充実させる。	緊急時だけでなく、普段から利用者の必要性に応じた柔軟なサービス提供を行っている。 年間計画に沿って研修を実施できている。 ミーティングはできているが深く情報共有することが不足している。	自己評価が全体的に低い。事業所として地域と関わっているのに、職員が実感できていないことは課題。個人としての仕事だけでなく、事業所として仕事を見る視点が必要。	自己評価の内容について職員の入職時期や理解度に応じてフォローを行う。 事業所の職員として自覚を持てるようミーティングと情報共有を充実させる。
B. 事業所のしつらえ・環境	利用者が安全かつ快適に過ごすことのできる環境を維持する。	施設内の整理整頓を進め、環境整備を行っている。	職員と顔見知りなので入れるが、地域の人が気軽に入れる感じはしない。建物の玄関がどこにあるのかわかりにくい。保育園の入り口と紛らわしい。	利用者が安全で過ごしやすい空間に整える。 屋外、特に玄関アプローチをわかりやすい表示にし、親しみやすく入りやすい雰囲気づくりを行う。
C. 事業所と地域のかかわり	まだ介護が身近でない人にも興味を持ってもらえるような介護予防教室の企画内容を検討する。	介護予防教室には継続して参加してもらえるようになっている。	職員と知り合いになったので、相談しやすくなった。地域の方にはまず関心を持ってもらうことが大事。地域の交流場として「いきいき百歳体操」など行ってはどうか。	介護予防教室のチラシの配布先を増やすとともに回覧板を効果的に活用し、より多くの方に施設の存在を認知してもらう。 地域の交流の場としての施設開放を検討する。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>利用者と一緒に地域に出かけ、地域での暮らしや地域の情報を共有できる機会を持つ。</p>	<p>地域での暮らし、情報について利用者と共有することができていたが、実施に至っていない。</p>	<p>地域の花植えや水やりに参加しようというのはいいことだ。出かけて行ってください。</p>	<p>地域行事の情報を収集し、積極的に参加する。利用者とともに地域へ出かける機会を確保できる体制を整える。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>事業所の取組みについて、わかりやすい報告を行う。個別のケアからコミュニティケアまで視野に入れた意見交換の場として活用する。</p>	<p>民生委員の方が毎回出席してくださり、普段の取組みと地域活動の報告を行った。事例検討を通して個別のケアから制度のことまで幅広い視点で地域のご意見をいただくこともできた。</p>	<p>スライドを利用し、わかりやすく説明されている。民生委員委嘱時の研修で運営推進会議への参加の必要性を説明するが事業所も案内の仕方を工夫し、個別に説明にまわるといい。</p>	<p>新任の民生委員、新自治会長など運営推進会議になじみのない方に出席いただけるよう積極的に働きかける。現場スタッフも会議に参加し、地域のことをよく知る機会として活用する。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>保育園と合同の消防訓練、避難訓練計画を策定し実施を継続する。災害備蓄をすすめる。</p>	<p>年間計画を策定し、保育園と合同の避難訓練を実施した。上町地域の防災訓練にも参加した。利用者全員に充分量の災害備蓄はできていない。</p>	<p>防災だけでなく防犯も必要。地域に向けての入りやすさと防犯を両立しなければいけない。</p>	<p>消防訓練、避難訓練、防犯訓練の計画的な実施。訓練をするだけでなく、振り返りをしっかり行い実践的なものにする。</p>